

藻場を守りましょう！

口之津地区保全活動組織では、藻場保全の活動として8月にウニ駆除を実施しました。近年、ウニ類の過剰な繁殖により海藻類が減少し、磯焼け状態が続いています。海岸沿いや沖合に行くと、岩場の下や隙間にガンガゼやムラサキウニがたくさん隠れています。

駆除の方法は、まず潜水又は箱メガネを使ってウニを探します。ウニを見つけたら、鉄製の棒やハンマーで細かく砕きます。今回の駆除場所は、海が濁っていましたが大量のウニを駆除することが出来ました。

組織の課題としては、高齢化により活動者の減少がありますが、これからも藻場の保全に向けて活動を続けていきます。



箱メガネでウニを探す様子



潜水で駆除する様子



針が長いガンガゼ



駆除後のムラサキウニ

※注意

駆除の様子がわかりやすいように石の上で写真を撮っています。駆除は、海中で実施しています。